



伊藤忠エネクス株式会社
トナミホールディングス株式会社
有限会社佐藤石油店

新たな給油拠点を活用した「リニューアブルディーゼル」の幹線輸送での実証利用を開始 特別積合せ事業者(拠点間幹線輸送の大型車)のリニューアブルディーゼル日本初導入

伊藤忠エネクス株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:岡田賢二、以下「伊藤忠エネクス」)、トナミ運輸株式会社(本社:富山県高岡市、代表取締役社長:綿貫勝介、トナミホールディングスグループの中核会社、以下「トナミ運輸」)、有限会社佐藤石油店(本社:愛知県海部郡、社長:佐藤純、伊藤忠エネクス販売店、以下「佐藤石油店」)は、カーボンニュートラルに向けた取り組みとして、新たに「リニューアブルディーゼル(Renewable Diesel、以下「RD」)」の給油拠点を佐藤石油店の飛鳥トラックステーションに設置し、このRD給油拠点を活用したトナミ運輸の幹線輸送での実証利用を開始します。

トナミ運輸は8月23日より、相模支店(神奈川県海老名市のRD給油拠点の最寄り)と中京エリアの事業所(愛知県飛鳥村のRD給油拠点の最寄り)間の運行ルートにおいて従来の軽油に代わる代替燃料としてRDを使用し、利用可能性を実証検証します。特別積合せ事業(拠点間幹線輸送の大型車)のRDの使用は国内業界で初めてとなります。本取組は、伊藤忠商事株式会社がNESTE社とRDの日本国内向け輸入契約を締結、伊藤忠エネクスが国内のRD輸送及び給油に係る一連のサプライチェーンの構築を行ったことにより実現したものです。

NESTE社のRDは食品競争のない廃食油や動物油等を原料として製造され、ライフサイクルアセスメントベースでのGHG排出量で石油由来軽油比約90%削減を実現いたします。RDは主に輸送用トラック・バス等での使用が期待され、いわゆる「ドロップイン」燃料として既存の車両や給油関連施設をそのまま利用開始することが可能です。既に欧米を中心に広く流通実績があります。脱炭素施策に係るコストを最小限に抑え、GHG排出削減にも大きく貢献できる「次世代リニューアブル燃料」として今後の陸上輸送分野での更なる利用拡大が期待されます。

トナミホールディングスグループは、EVトラックの導入や物流施設での太陽光発電の展開などの環境活動を通じて、持続的な発展に努めております。今後も長期的視野に立った気候変動への更なる取り組みを推進し、サステナブルな社会の実現に貢献してまいります。

伊藤忠エネクスは、経営理念「社会とくらしのパートナー」のもと、エネルギー企業としてエネルギーの安定供給を行うとともに今後も環境負荷低減商材やサービスの普及に努め、持続可能な社会への貢献を目指してまいります。

〈佐藤石油店 飛島トラックステーション〉
住所:愛知県海部郡飛島村竹之郷 6 丁目93
アクセス:梅之郷 IC(名四国道)から車で 4 分



リニューアブルディーゼルを使用する運行車

【本リリースに関するお問い合わせ先】

伊藤忠エネクス株式会社 産業ビジネス部門
環境ビジネス部 リニューアブル燃料課

TEL:03-4233-8094

トナミホールディングス株式会社 経営企画室

TEL:0766-32-1850